

島根県の経済動向

平成20年2月28日

政策企画局統計調査課

平成19年12月分

先月からの主要変更点 なし

	12月分	11月分
総括判断	本県経済の動向は、投資動向で基調として弱い動きが続き、個人消費はおおむね横ばい、雇用情勢も緩やかな改善傾向に足踏みがみられるものの、生産活動は堅調に推移しており、持ち直しの動きが続いている。	本県経済の動向は、投資動向で基調として弱い動きが続き、個人消費はおおむね横ばい、雇用情勢も緩やかな改善傾向に足踏みがみられるものの、生産活動は堅調に推移しており、持ち直しの動きが続いている。
個別項目		

島根県の経済動向

平成20年2月28日
政策企画局統計調査課

平成19年12月分

本県経済の動向は、投資動向で基調として弱い動きが続き、個人消費はおおむね横ばい、雇用情勢も緩やかな改善傾向に足踏みがみられるものの、生産活動は堅調に推移しており、持ち直しの動きが続いている。

生産活動	↗	～堅調に推移～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は106.6となり、対前年同月比は3ヶ月連続でプラスとなった。また、大口電力需要実績は29ヶ月連続で前年を上回っており、堅調に推移している。
雇用情勢	→	～緩やかな改善傾向に足踏み～	常用労働者数は14ヶ月連続で前年を上回った。きまって支給する給与、所定外労働時間（製造業）も連続して前年を上回っているが、有効求人倍率は0.86倍に低下し、新規求人数は3ヶ月振りに前年を下回っているなど、緩やかな改善傾向に足踏みがみられる。
個人消費	→	～おおむね横ばい～	大型小売店販売額、ホームセンター販売額は5ヶ月振りに前年を下回ったが、家電量販店販売額は2ヶ月振りに前年を上回っており、おおむね横ばいとなっている。
投資動向	↘	～基調としては弱い動き～	建築着工床面積は6ヶ月振りに、新設住宅着工戸数は2ヶ月続けて前年を上回ったが、公共工事請負金額は8ヶ月連続で前年を下回っており、基調としては弱い動きが続いている。
企業倒産	→	～倒産件数3件～	企業倒産件数は3件。うち建設業は2件、製造業は0件。
金融情勢	→	～貸出金残高は18ヶ月連続でマイナス～	銀行預金残高は2ヶ月振りに前年を上回った。 銀行貸出金残高は18ヶ月連続で前年を下回った。
物 価	→	～対前年1.0%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は101.4となり、対前年同月比1.0%増と2ヶ月続けて上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数 (平成20年2月28日公表)		景気動向指数の先行指数は3ヶ月連続で50%ラインを上回った。 一致指数は50%となった。
	法人企業景気予測調査結果 (平成19年12月25日公表)		財務省松江財務事務所の景況判断は、現状(19年10～12月期)の景況判断BSIは▲12.2%ポイントと引き続き「下降」超となっている。 先行きについては、翌期(20年1～3月期)は引き続き「下降」超であるものの、翌々期(4～6月期)は「上昇」超に転じる見通し。

経 済 指 標	前年同月比（*を除く）%						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	117.9	106.4	106.6	108.1	107.6	106.6
	" (原指数)	15.0	2.4	▲3.5	2.2	8.0	2.3
	大口電力需要実績	10.8	11.7	12.2	9.4	8.2	6.7
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.97	0.98	0.95	0.91	0.87	0.86
	新規求人数	13.3	3.6	▲9.6	2.4	0.0	▲8.5
	常用労働者数	1.2	1.2	1.7	1.9	0.6	0.4
	現金給与総額	6.7	▲1.1	2.4	0.6	1.5	▲3.2
	きまって支給する給与	3.2	0.4	1.3	0.3	1.4	0.5
	所定外労働時間（製造業）	6.6	4.4	2.6	3.7	14.3	15.3
個人消費	大型小売店販売額	▲0.3	4.2	0.4	0.2	0.6	▲0.7
	ホームセンター販売額	▲0.2	2.1	1.1	1.9	2.1	▲0.7
	家電量販店販売額	▲2.6	4.4	▲1.4	1.6	▲2.1	1.9
	乗用車新車登録台数	▲6.1	▲0.8	▲0.1	3.8	▲3.7	▲4.9
	出雲空港利用者数	▲5.1	6.3	3.6	▲3.2	4.1	1.7
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲71.1	▲41.6	▲20.6	▲20.5	▲83.6	75.2
	公共工事請負金額	▲22.8	▲7.5	▲19.0	▲12.4	▲30.4	▲18.8
	新設住宅着工戸数	▲50.3	▲30.4	▲31.2	▲6.6	7.9	11.8
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	8	9	6	7	7	3
	* 負債総額（百万円）	6,301	1,986	1,317	933	2,958	123
金融情勢	銀行預金残高	0.8	▲0.6	0.7	0.9	▲0.1	1.5
	銀行貸出金残高	▲3.3	▲3.4	▲3.4	▲2.8	▲2.4	▲2.6
物 価	* 消費者物価指数（生鮮を除く総合）	100.1	100.5	100.5	100.6	100.9	101.4
その他	* 景気動向指数（先行指数）	42.9	64.3	42.9	71.4	57.1	71.4
	* 景気動向指数（一致指数）	66.7	77.8	44.4	22.2	55.6	50.0

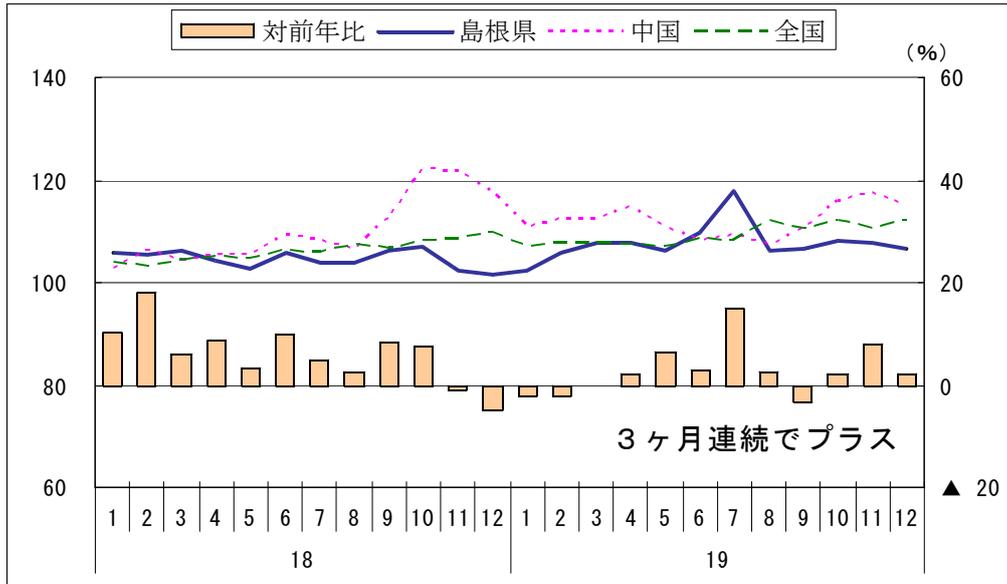
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」 平成20年2月22日
	<p>景気は、このところ回復が緩やかになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業収益は、改善に足踏みがみられる。設備投資は、緩やかに増加している。 ・ 雇用情勢は、厳しさが残るなかで、改善に足踏みがみられる。 ・ 個人消費は、おおむね横ばいとなっている。 ・ 住宅建設は、持ち直しの動きがみられるものの、依然として低い水準にある。 ・ 輸出は、緩やかに増加している。生産は、増勢が鈍化している。 <p>先行きについては、設備投資や輸出が増加基調で推移し、緩やかな景気回復が続くと期待される。ただし、サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカ経済の減速や金融資本市場の変動、原油価格の動向等から、景気の下振れリスクが高まっていることに留意する必要がある。</p>
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成20年2月15日
	<p>中国地域の景気は、景況感や建設動向などに弱さがみられるものの、基調として緩やかに回復しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産動向…緩やかな上昇傾向 2. 景況感…弱い動き 3. 産業用電力需要…堅調 4. 物価…消費者物価は3か月連続の上昇 5. 個人消費…一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに増加 6. 設備投資…堅調 7. 建設動向…新設住宅着工は減少傾向 8. 雇用動向…有効求人倍率は回復傾向に足踏み 9. 企業倒産…件数は2か月連続の減少 10. 貿易…輸出は堅調
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2008年1月31日
	<p>山陰両県の景気を見ると、基調としては緩やかに回復しつつあるものの、このところ回復の動きに足踏み感が窺われる。すなわち、公共投資が減少しているほか、住宅投資も基調としては減少傾向にあるが、製造業の生産は増加しており、設備投資も2年連続で前年度を二桁上回る計画となっている。また、雇用・所得情勢はこのところ改善の動きに足踏み感が窺われる。この間、個人消費は明暗入り交じる動きとなっているが、総じてみれば緩やかに持ち直しつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業の生産は、増加している。 ・ 個人消費は、このところ明暗入り交じる動きとなっているが、総じてみれば緩やかに持ち直しつつある。 ・ 企業の設備投資（12月短観調査）をみると、2007年度計画は2年連続で前年度を二桁上回っている。 ・ 公共投資は、減少している。 ・ 住宅投資は、基調としては減少傾向にある。 ・ 雇用、所得情勢は、このところ改善の動きに足踏み感が窺われる。
山 陰 地 方	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 平成20年1月25日
	<p>当地の景気は、公共投資や住宅建設などで低調な推移が続いているが、設備投資は前年を上回る見通しであり、総じて横ばい推移の状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共投資は、低調な推移が続く。 ・ 設備投資は、前年度を上回る計画（日銀短観 12月、全産業 26.0%増）。 ・ 住宅建設は、低調な推移が続く。 ・ 個人消費は、総じて横ばい圏内の動き。 ・ 生産は、総じて横ばいで推移。 ・ 雇用情勢は、足元にはやや減速感がうかがえる。 ・ 企業の業況判断は、足元、製造業で悪化したものの、非製造業が改善したことから、全産業は横ばい（▲17→▲17）で推移。先行き（08年3月）については、製造業、非製造業ともにほぼ横ばいを予想していることから、全産業でも横ばい（▲17→▲17）の見通し（日銀短観 12月）。
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 平成20年1月21日（四半期ごとに公表）
	<p>県内経済は、生産活動で順調な動きが続き、個人消費も緩やかに持ち直しているものの、公共事業のマイナス幅が拡大し、雇用情勢は弱含んでいることなどから、持ち直しに向けた動きが足踏みしている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人消費 緩やかに持ち直し ・ 生産活動 順調な動きが続いている ・ 雇用情勢 弱含んでいる ・ 公共事業 マイナス幅が拡大 ・ 設備投資 19年度は4年連続で増加見込み ・ 企業収益 19年度は増益見込み

経済指標の推移

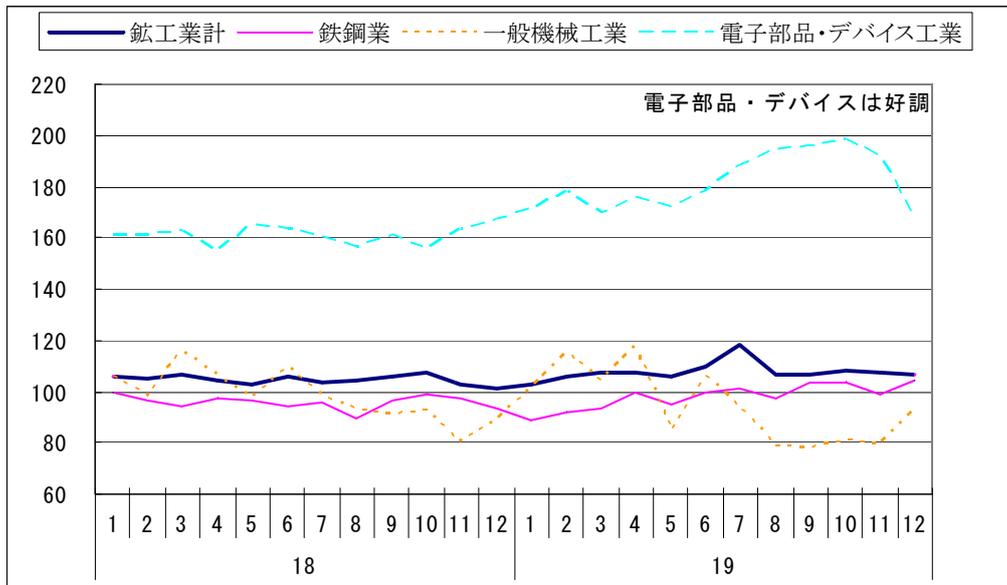
【生産活動】 ～堅調に推移～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成12年=100）



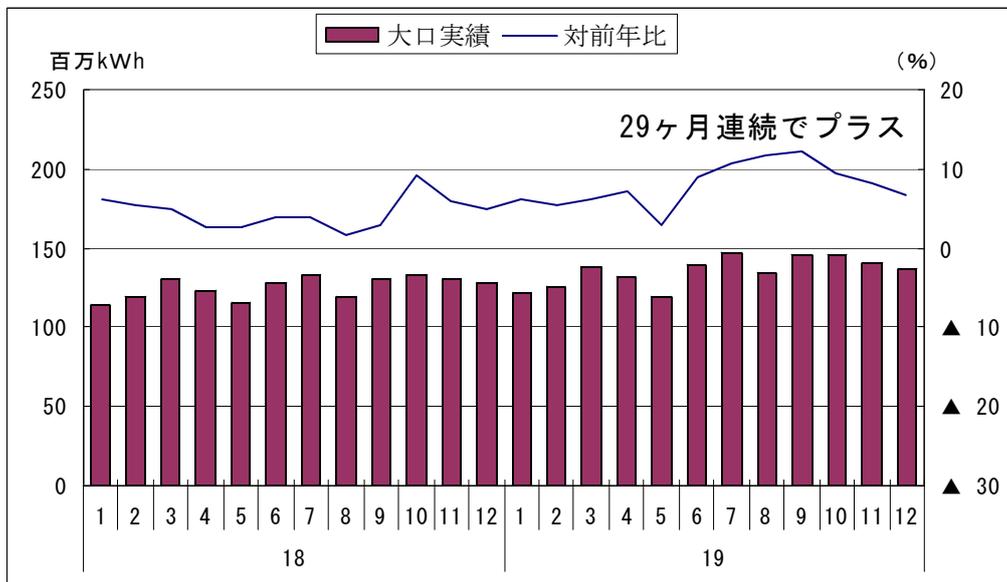
(注) 対前年比は、島根県の原指数 (県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）



(県統計調査課)

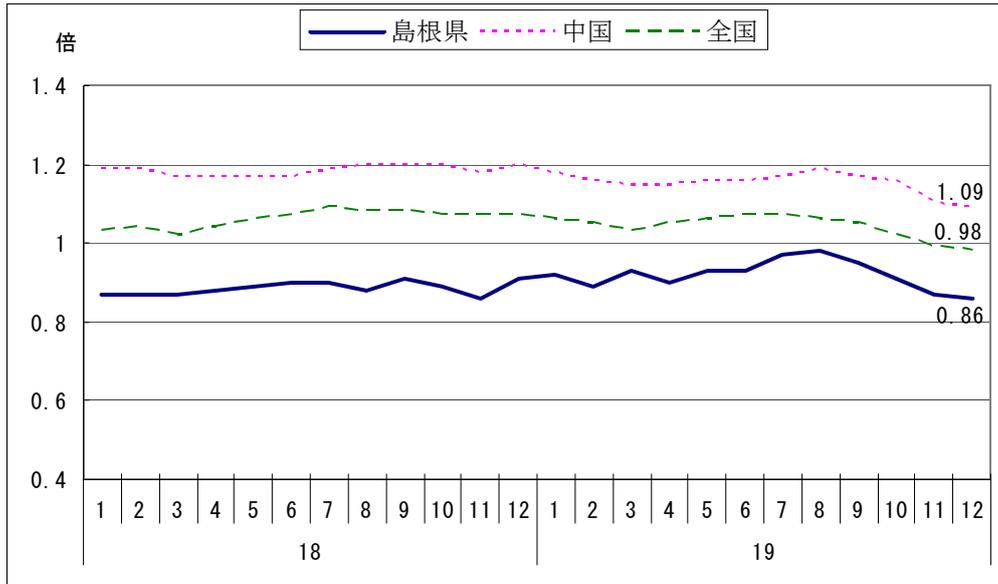
大口電力需要実績



(中国電力株)

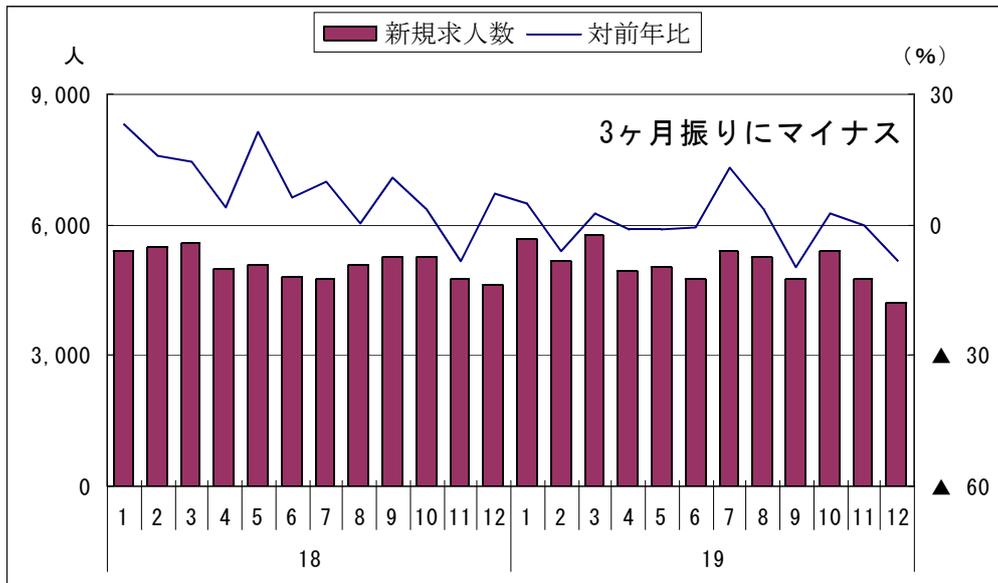
【雇用情勢】 ～緩やかな改善傾向に足踏み～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



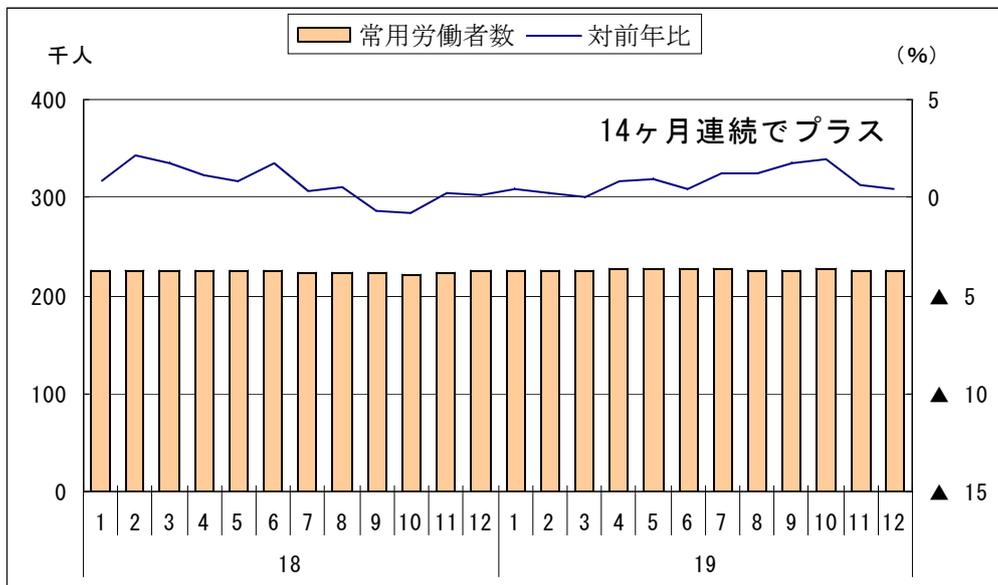
(厚生労働省、島根労働局)

新規求人数



(島根労働局)

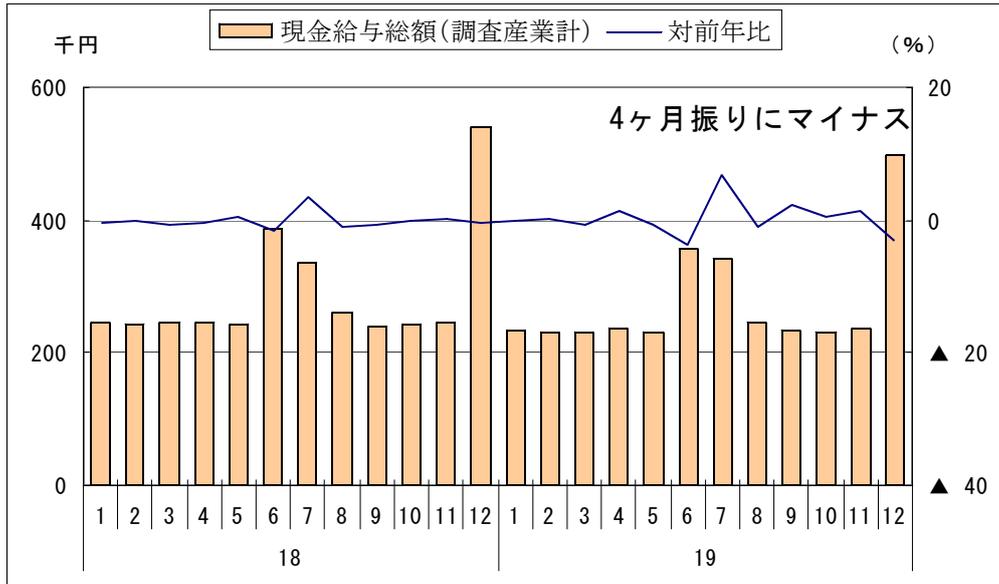
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

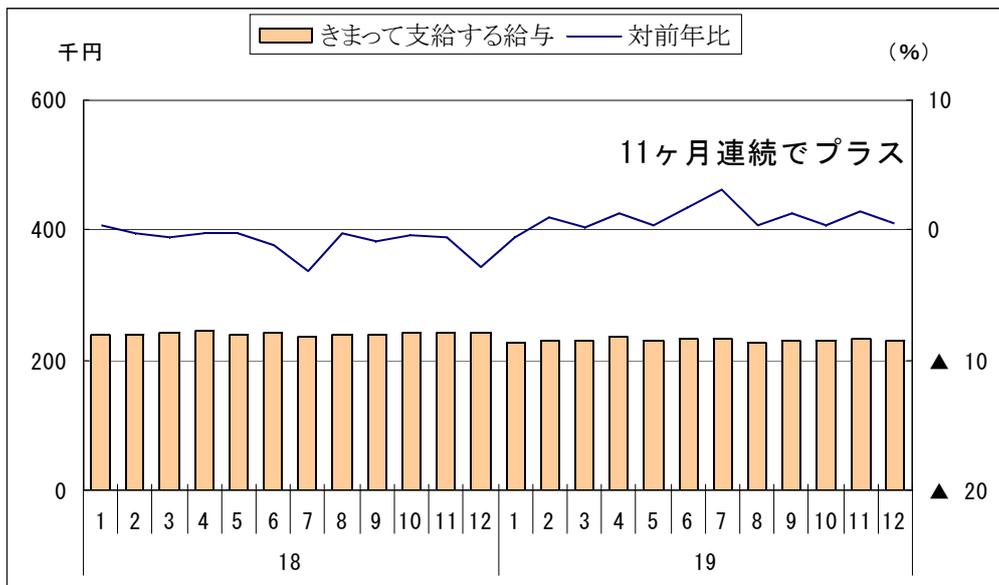
【雇用情勢】 ～緩やかな改善傾向に足踏み～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



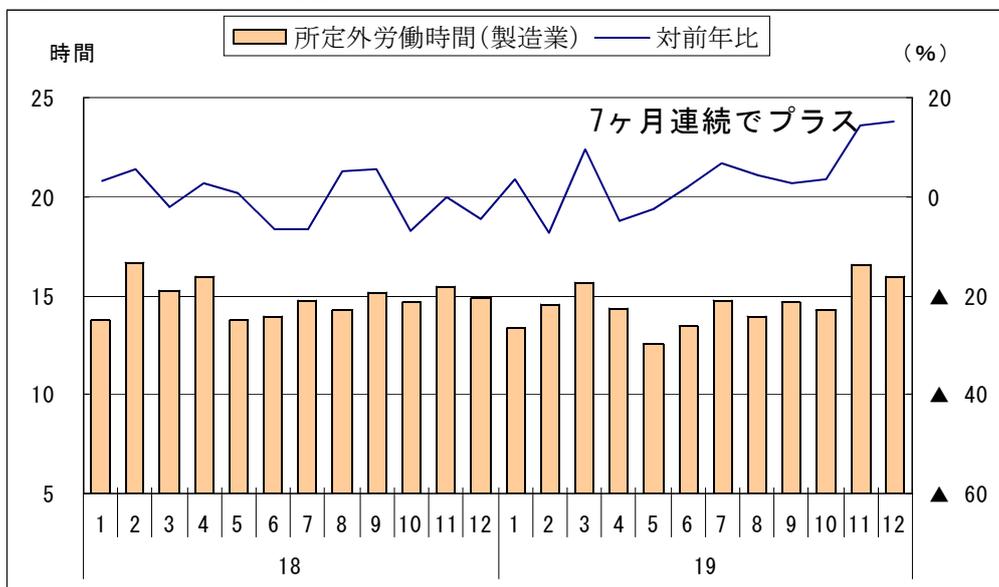
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

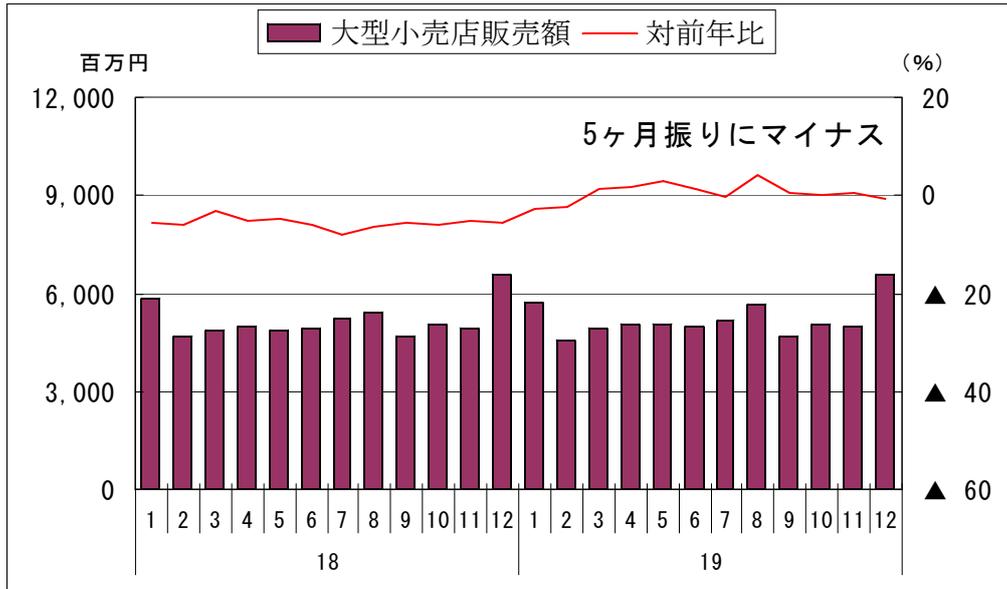
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

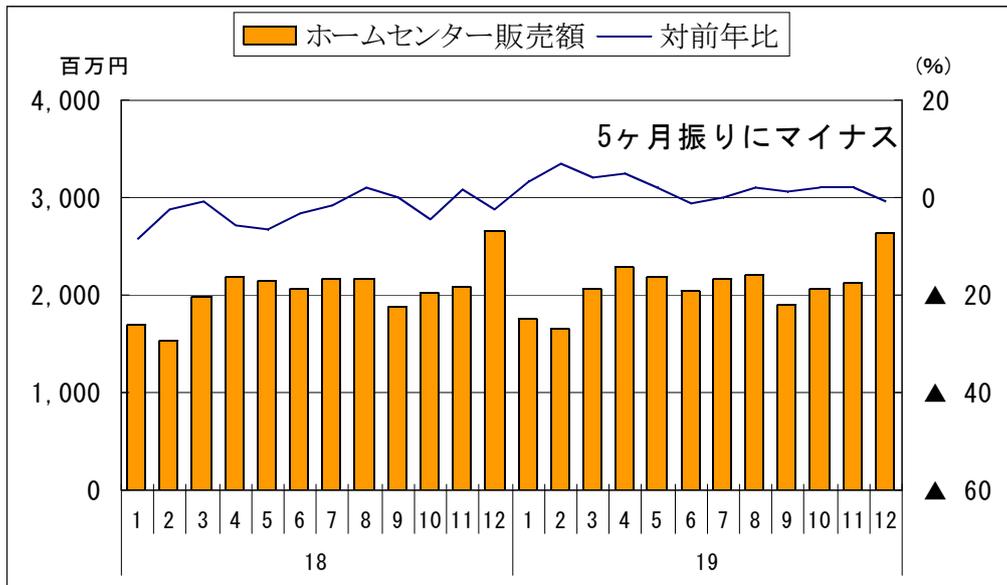
【 個人消費 】 ～おおむね横ばい～

大型小売店販売額



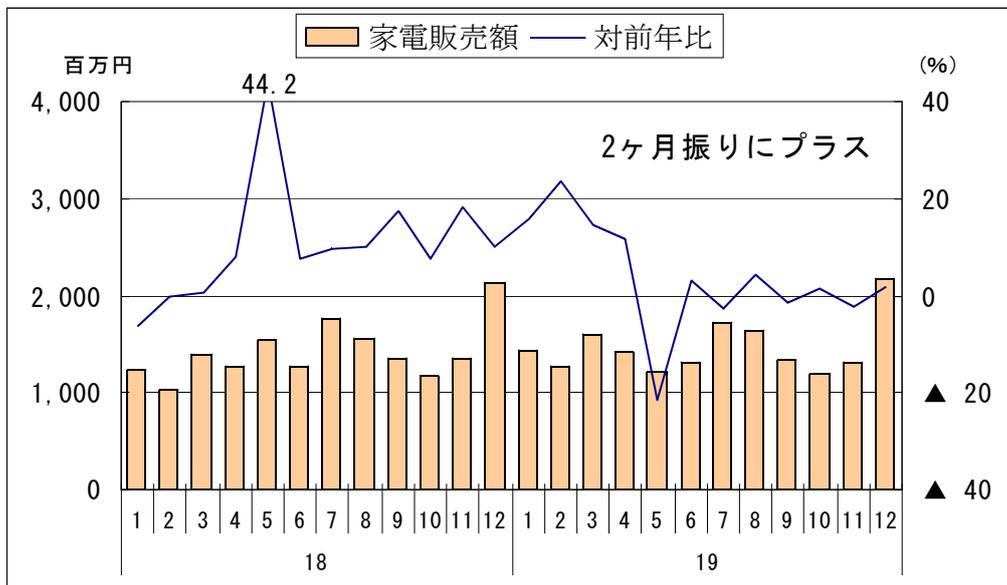
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

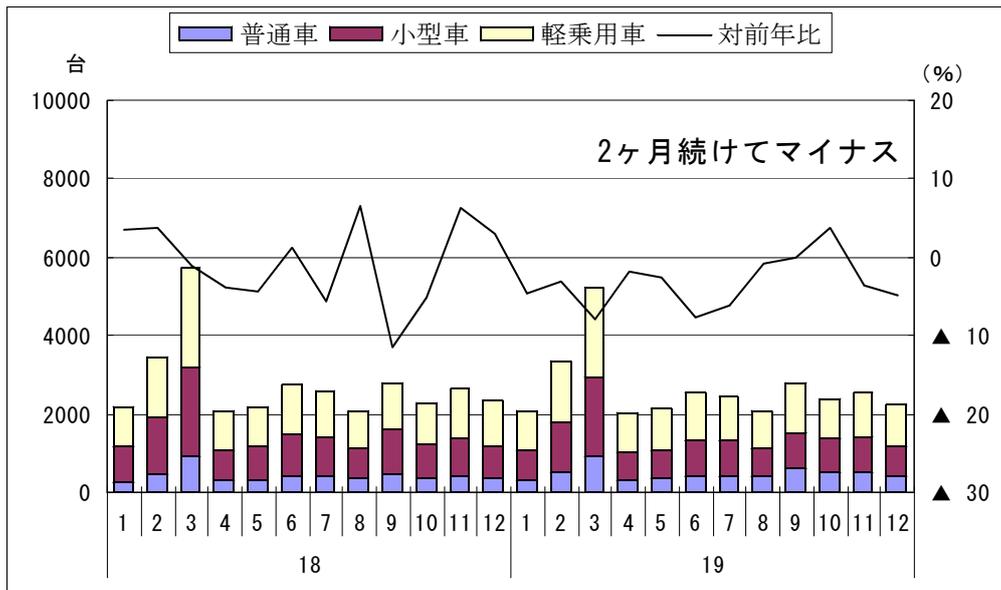
家電量販店販売額



(中国経済産業局)

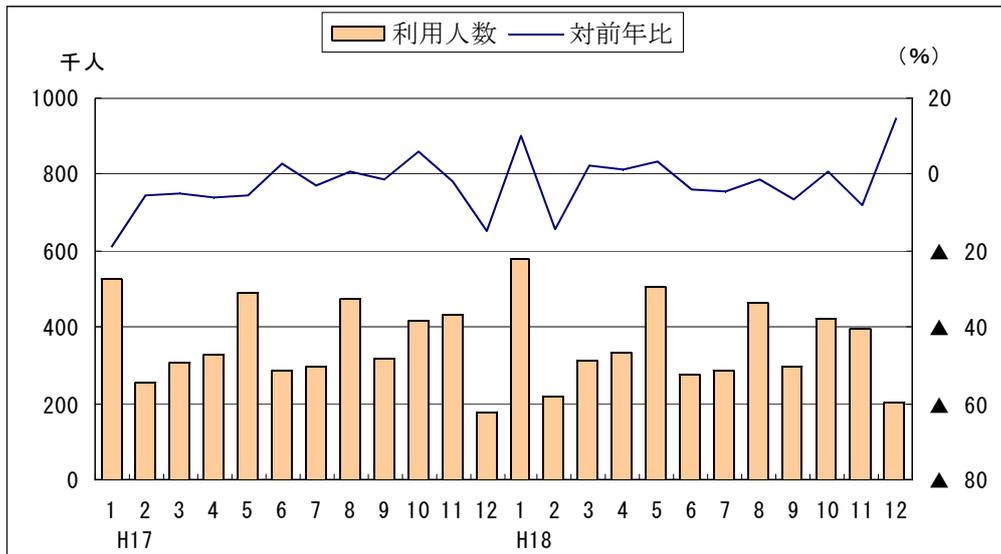
【 個人消費 】 ～おおむね横ばい～

乗用車新車登録台数



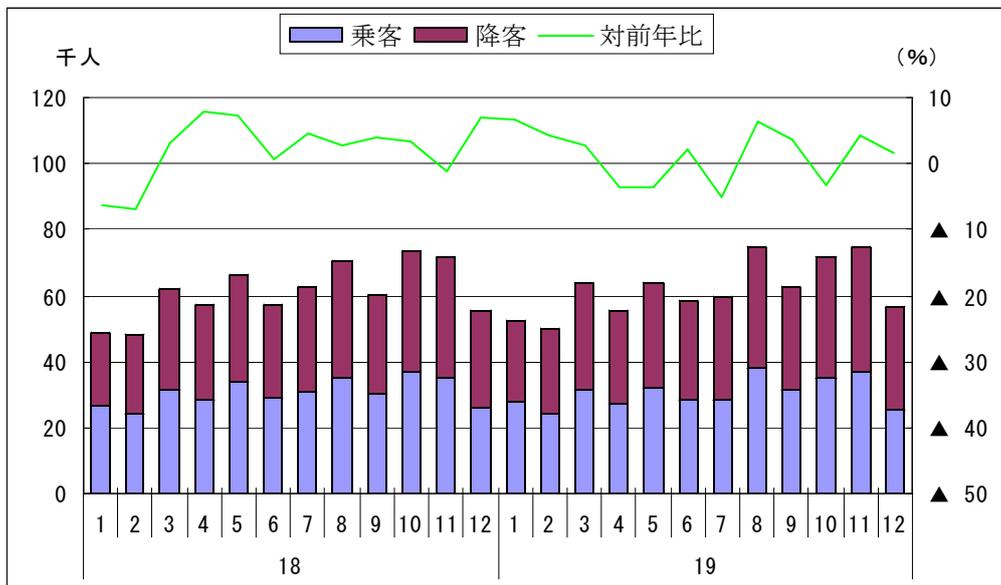
(中国運輸局)

主要観光施設利用状況



(県観光振興課)

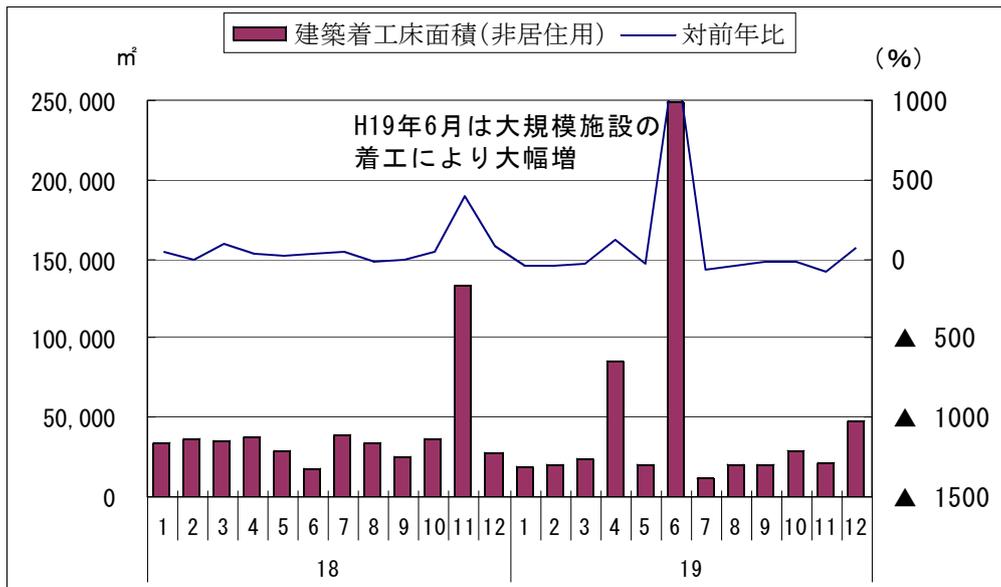
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

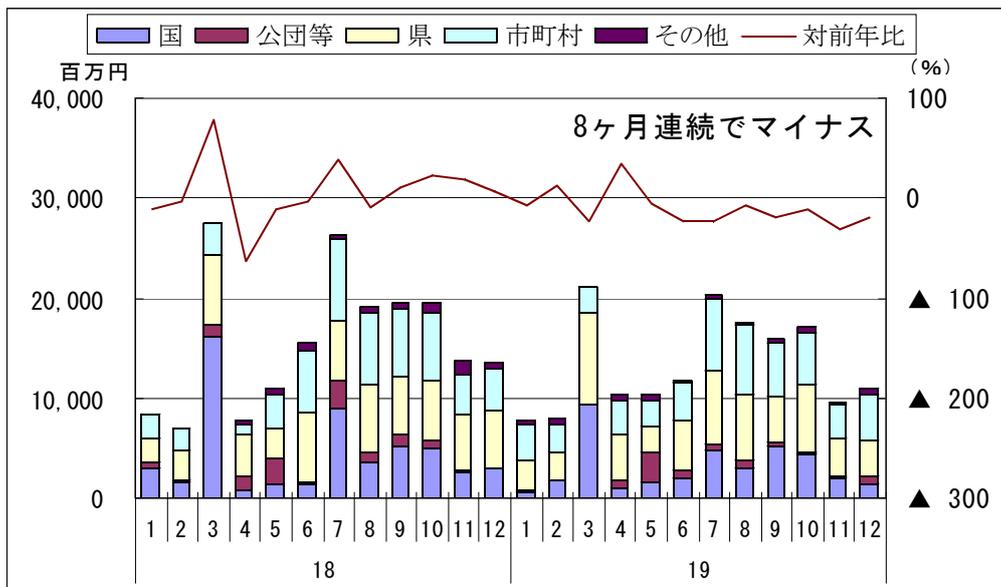
【 投資動向 】 ～基調としては弱い動き～

建築着工床面積（非居住用）



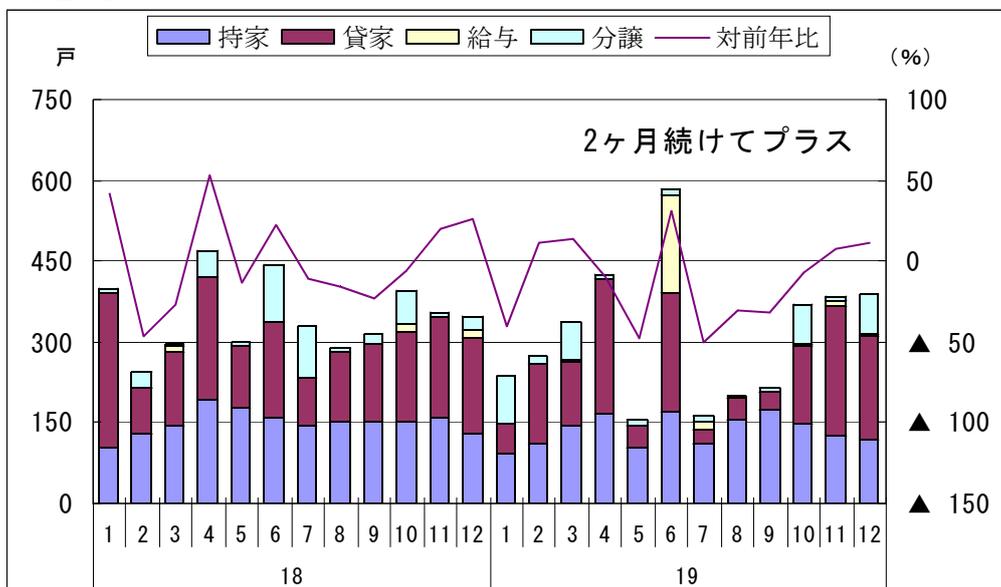
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

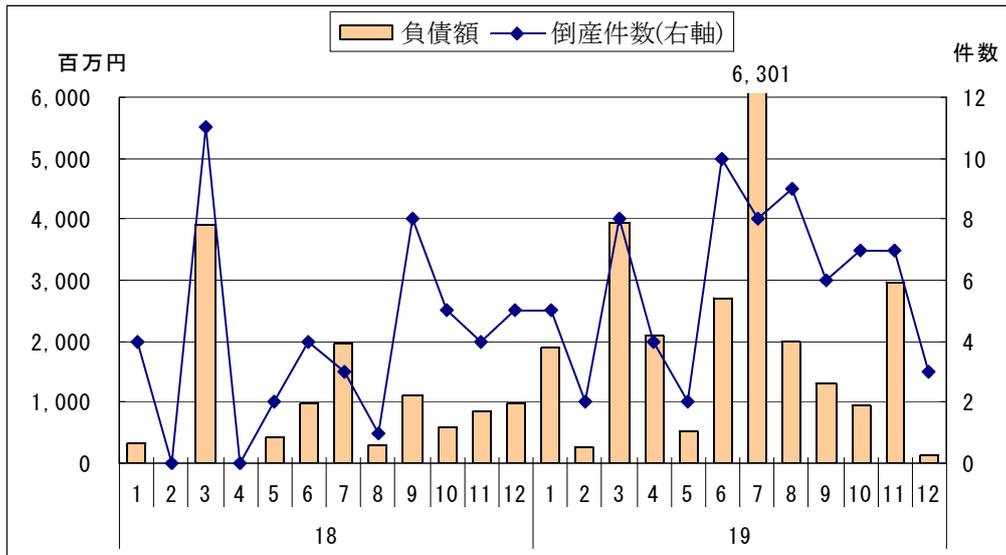
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数 3 件～

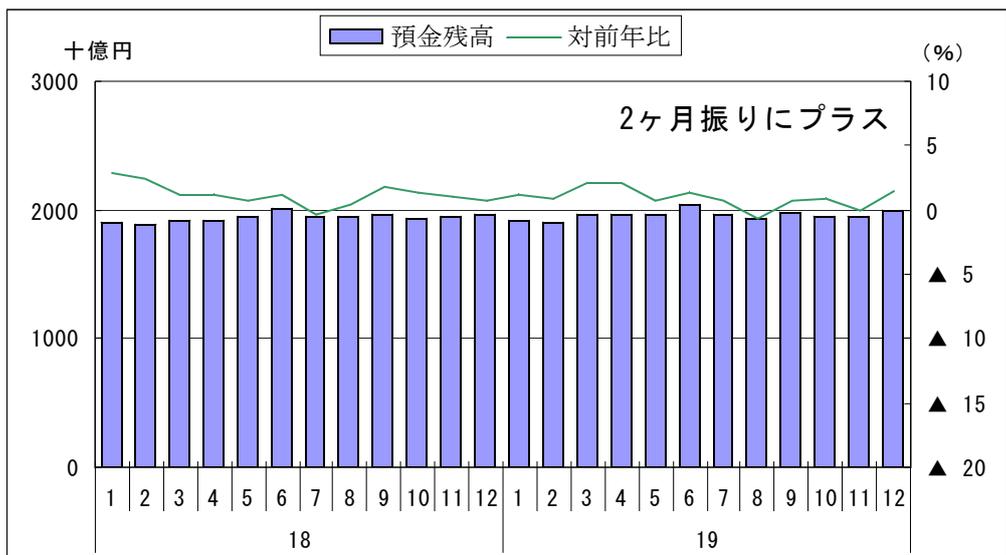
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

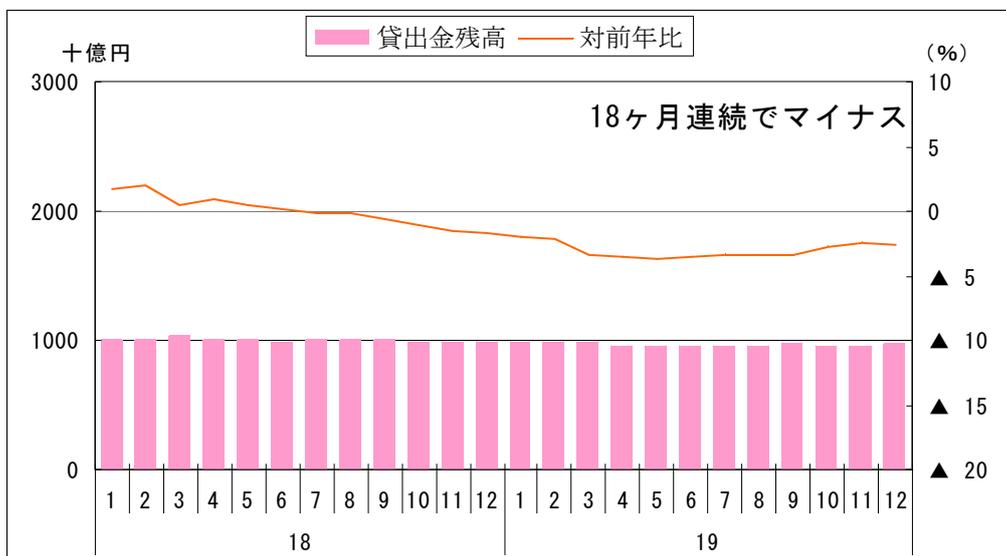
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は、18ヶ月連続でマイナス～

銀行預金残高



(日本銀行松江支店)

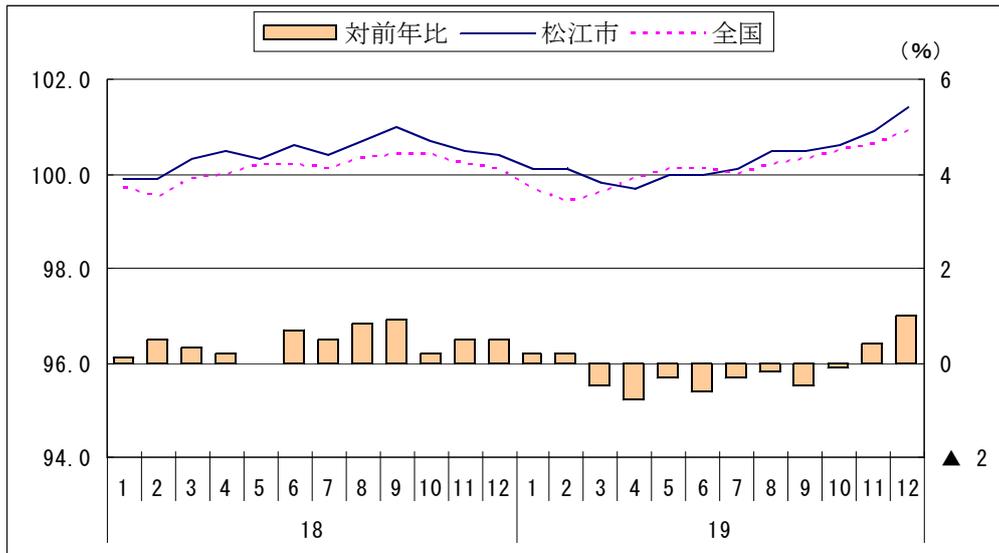
銀行貸出金残高



(日本銀行松江支店)

【物 価】 ～対前年 1.0%の上昇～

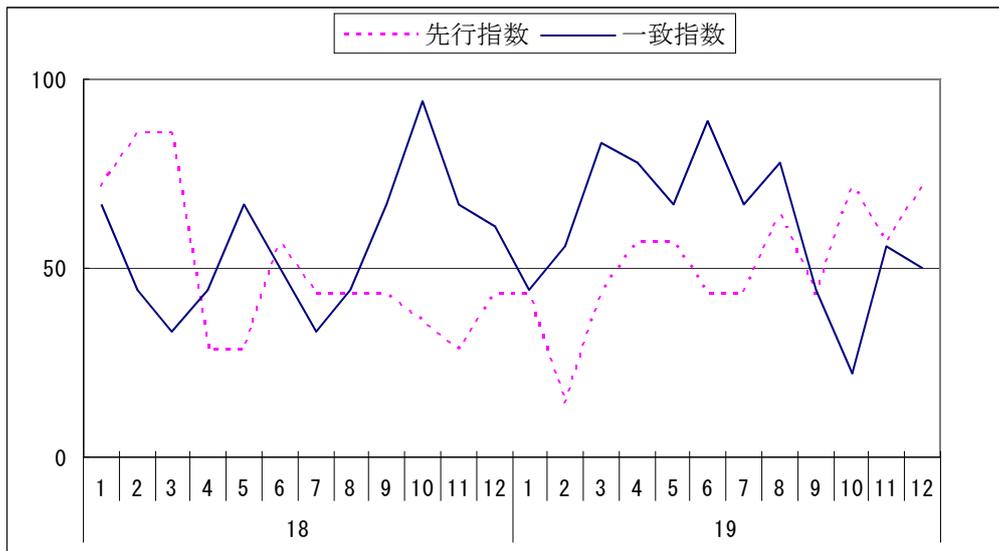
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17年=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果（平成19年12月25日 財務省松江財務事務所）

平成19年10～12月期調査

景況判断BSI

(BSI：前期比判断「上昇」－「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区分	19年7～9月 前回調査	19年10～12月 今回調査	20年1～3月 見通し	20年4～6月 見通し
全産業	▲14.3	(▲16.3) ▲12.2	(▲16.3) ▲10.2	1.0
製造業	2.9	(5.9) ▲11.4	(2.9) 5.7	5.7
非製造業	▲23.4	(▲28.1) ▲12.7	(▲26.6) ▲19.0	▲1.6
大企業	0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	0.0
中堅企業	7.1	(▲7.1) 6.9	(0.0) 0.0	13.8
中小企業	▲25.0	(▲21.9) ▲22.2	(▲25.0) ▲15.9	▲4.8

※ () 書きは、前回(19年7～9月期)調査時の見通し。